

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 15	
企画名	主治医／かかりつけ医の定義について考えよう（研究における定義）（ワークショップ）
日時	2016年6月11日(土) 17:00～18:30
会場	第11会場（台東区民会館 8階 第4会議室）
企画責任者	岡田唯男（鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山）
定員	24名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>日本での家庭医療／総合診療に関するエビデンスを創出する上で、その基盤となる主治医／かかりつけ医のリサーチ上の定義を決めなければ、その存在と不在でのアウトカムの違い、また主治医が家庭医／総合診療専門医とそうでない場合のアウトカムの違いを比較する研究を行うことができません。そしてこの問題は制度や行政によって主治医を定義されてしまう家庭医療先進国ではあまり問題となりません。</p> <p>そのため、簡単に海外での主治医の決め方についての文献を紹介し、その後皆様の知恵を集結して、主治医／かかりつけ医の研究における定義のコンセンサス作りを試みたいと思います。このリサーチクエスト、質的研究、デルファイ法などに興味のある方、「主治医とはこうあるべきだ」というご意見のある方お待ちしております。</p>	
<p><b>【概要】</b></p> <p>導入 15分 ワーク40分 発表 30分 まとめ 5分 を想定</p>	